

立山の夜間の湿度は 100%になることが多い

図1-4のグラフは、富山市(富山地方気象台)、美女平(標高970m)、弘法平(標高1630m)、追分(標高1800m)、浄土山山頂(標高2839m)の2008年8月3日~9日までの相対湿度を比較したものです。立山の観測点の湿度は全般には平野の富山市よりも高く、夜間には湿度が100%になることが多いようです。気温が上がる日中は湿度が下がりますが、日中の湿度は、気温が低くなる標高の高い場所の方が高くなるわけではなさそうで、グラフの観測期間では追分や浄土山山頂で他の場所よりも湿度が低くなる場合が見られました。気象状況によっては、立山の方が平野よりも湿度が低くなることもあるようです。また、この期間の立山の観測点の中では、弘法平の湿度が他の観測点よりも高かったようです。ここは霧が発生しやすい場所なので、霧が関係しているのかもしれません。日中に湿度が低下しやすかった追分と湿度が高かった弘法平との標高差はわずか170m程で、ちょうど立山有料道路の七曲がり坂の上(追分)と下(弘法平)の位置関係にあります。

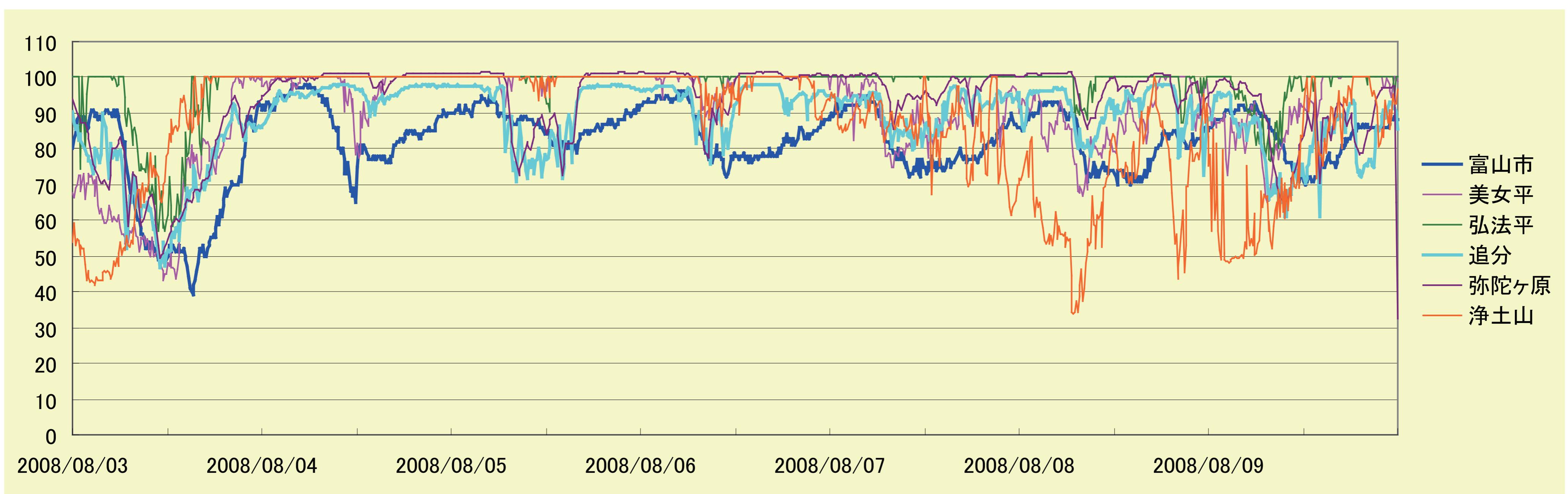


図1-4 富山市、美女平、弘法平、追分、浄土山山頂の湿度の比較(富山市データは気象庁ホームページから引用)